

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	有機で創る元気な里づくり事業 ～スーパーぼかしを使った野菜作り～
事業主体 (連絡先)	生坂村役場振興課 0263-69-3112
事業区分	(6) オ地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,361,265 円

事業内容

- 1 生坂村独自の有機肥料 (Super ぼかしいくさか) を普及させるため、普及用のパッケージデザインとパンフレットの作製を行った。
- 2 生坂村独自の有機肥料 (Super ぼかしいくさか) を使って栽培した野菜を活用した料理教室を開催した。
- 3 生坂村独自の有機肥料 (Super ぼかしいくさか) を使用したほ場の成分を検査し、その検査結果を元に土壌における成分検査についての講習会を行った。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 入札によって決定したデザイン業者と打合せを幾度か行い、ぼかし製造をお願いしている組織「のらのら青空塾」の意見を踏まえながら作製を行い、総員が納得のいくデザインの肥料袋を作成できた。
- 2 平成30年11月15日に大町市で料理店を営んでいる小田純司氏を講師としてお招きし、料理教室を行った。村民15名ほどの参加があり、ぼかしを使った野菜の活用方法を普及できた。
- 3 ほ場内の5箇所にて土壌の検査を行い、その結果現在のほ場に足りない部分が顕わになったため、その不足を補うための方法について講習会を行った。また、長年ぼかしを施肥し続けたほ場とは全く離れた農地のほ場検査結果と成分を比較することで、現況の客観的な評価を行うことができた
- 4 ハウス内の冬野菜の生育が順調で、平成30年9月22日に開業した農産物直売所「いくさかの郷」へ出荷を行った。



料理教室

【目標・ねらい】

- ① 生坂村独自の有機肥料 (スーパーぼかし) を開発し、それを使い栽培した、ブランド野菜を作る。
- ② 特徴ある作物を特産化し、農産物直売所「いくさかの郷」の目玉の一つとするなど、村の農業振興と活性化を行う。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・開発した生坂村独自の有機肥料 (スーパーぼかし) の普及を押し進めるため、農産物直売所「いくさかの郷」にて、ぼかしを使って栽培した農産物の販売のみならず、ぼかしそのものの配布・販売を行いPRする。
- ・今後も土壌の検査を継続して行う予定であるが、1つのほ場の中で条件を変えて比較をするのみでなく、今回のようにまったく別のほ場と比較を行い、土壌の現況を把握していく。
- ・農産物の商品価値を高めていくために、生産した野菜に長期の保存が可能となるような処置を施すことや、乾燥などの簡単な加工を行い出荷できるような体制を整えていく。

※自己評価【 B 】

【理由】

普及促進物品の作製が完了し、Super ぼかしいくさかを広めるための基盤が出来上がってきたため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある